

未来へ挑戦する東通村



東 通 村

令和5年11月28日



東通村イメージキャラクター
かんだちくん

目次

1. 東通村の概要
2. 村民が主役の村政運営
3. 喫緊の課題

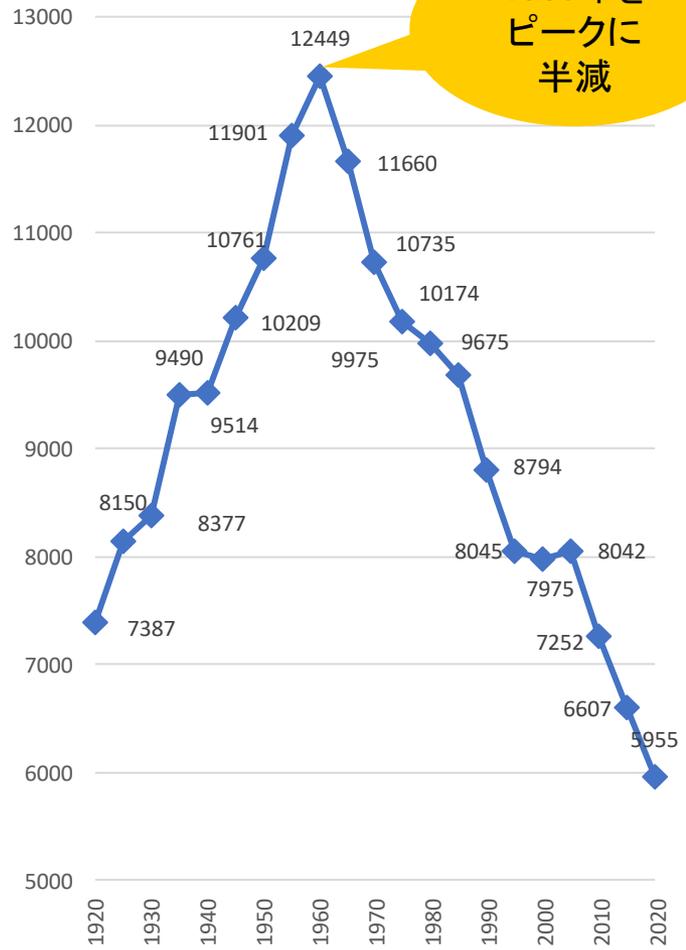
東通村の地勢等



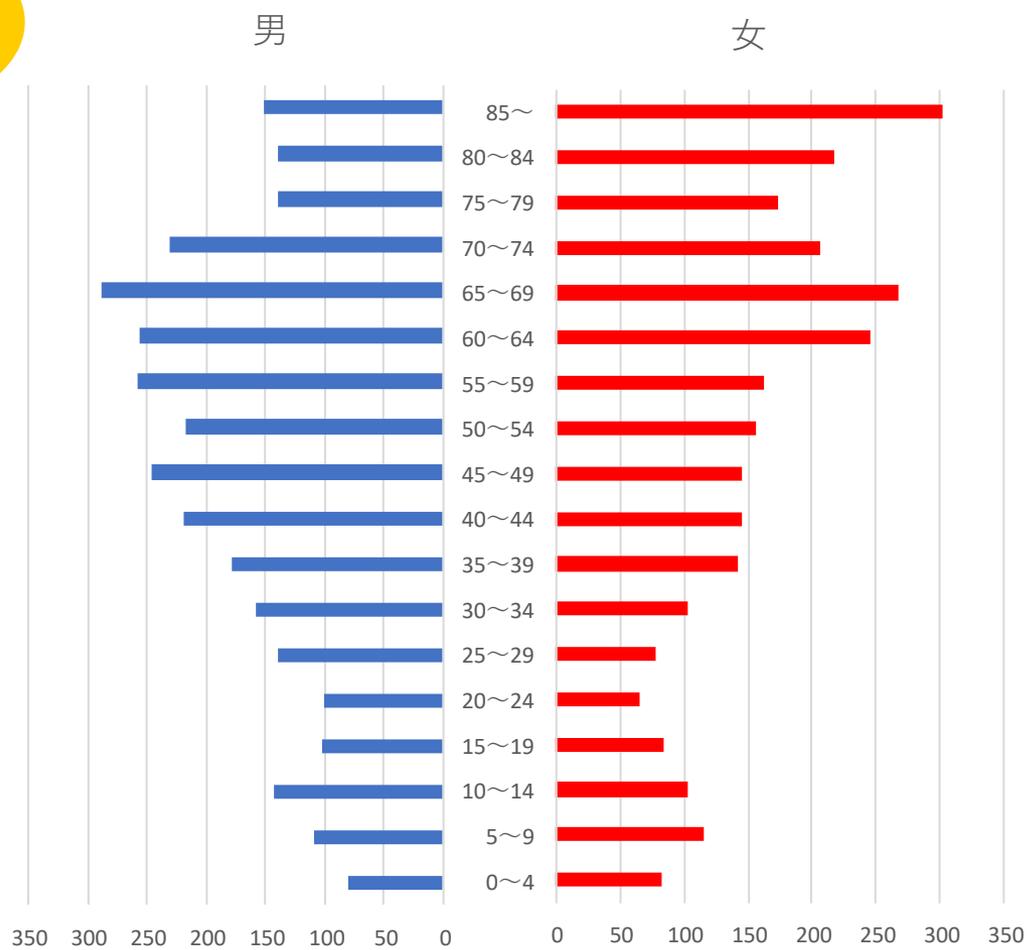
- ・人口 約6,000人
(約2,800世帯)
- ・集落 29地区
- ・面積 約300km²
- ・気温 約10°C(年平均)

東通村の人口

人口の推移



年齢(5歳階級)男女別人口【令和2年】



(国勢調査)

東通村の主な産業（水産業）

外海地蒔きホタテ



天然ヒラメ



拾い昆布漁



アワビ



東通村の主な産業（農畜産業）

東通牛



水稲



東通そば



ブルーベリー



東通村の主な景勝地

下北半島国定公園「尻屋崎」



青森県天然記念物

「寒立馬とその生息地」



国重要文化財「尻屋埼灯台」



猿ヶ森砂丘



東通村の民俗芸能

国重要無形民俗文化財
「下北の能舞」



鐘巻

青森県無形民俗文化財
「東通神楽」



平獅子

田植えもちつき踊り



青森県無形民俗文化財
「東通のもちつき踊」

乗権現舞



青森県無形民俗文化財
「東通村の獅子舞」

新たな街づくり(中心地整備)



東通村民憲章

私たちは、東通村民として、住みよい村づくりのため村民憲章の実践につとめます。

- 1 美しい自然を守り伝統ある文化を育てる村をつくります。
- 1 恵まれた資源を生かし働く喜びと誇りを持つ村をつくり
ます。
- 1 ふれあいを大切にしみんなで学びつづける村をつくりま
す。
- 1 健康で明るく老人や子どもをいつくしむ村をつくります。
- 1 希望と活力にあふれゆたかな未来をきりひらく村をつく
ります。

(平成元年6月14日制定)

東通村の将来像

①村民が主役の「村政運営」

- ・総合開発計画の策定
- ・東通円卓会議(自治会、業界、若者等ごと)
- ・東通村政策会議
- ・こども議会(中学生議会、小学生円卓会議)

など

④ひとりひとりに寄り添う「くらしづくり」

- ・新たな子育て支援策
- ・障がい者雇用・居場所づくり
- ・買物難民への支援
- ・SNS開設による情報提供

など

②未来をつくる「ひとづくり」

- ・東通学の充実
- ・東通カレッジの開講
- ・若者の人材育成
- ・幼保、小、中一貫教育の推進

など

⑤いのちを守る「むらづくり」

- ・災害時の障がい者の避難施設の整備
- ・災害に強い「東通村防災モデル」構築

など

③未来を牽引する「しごとづくり」

- ・攻めの稼げる第一次産業振興
- ・新たな稼げる農業・漁業振興モデル
- ・攻めの商工事業支援
- ・ワーケーション推進

など

⑥原子力との共生を目指す「東通モデル」

- ・国、県、事業者との対話の深化
- ・避難施設、避難道路の整備
- ・原子力関連産業の誘致
- ・近隣市町村との連携

など

東通村の将来像（取組の一例）

村政運営

村民が主役

むらづくり

ひとづくり

住民参加型イベント

岩屋地区避難施設



中学生議会



東通円卓会議



インターン



自然災害協定



地域おこし協力隊

買物支援車
「わんつCAR」

予約型タクシー
「むげと」



東北電力立地地域事務所

しごとづくり

原子力との共生

くらしづくり

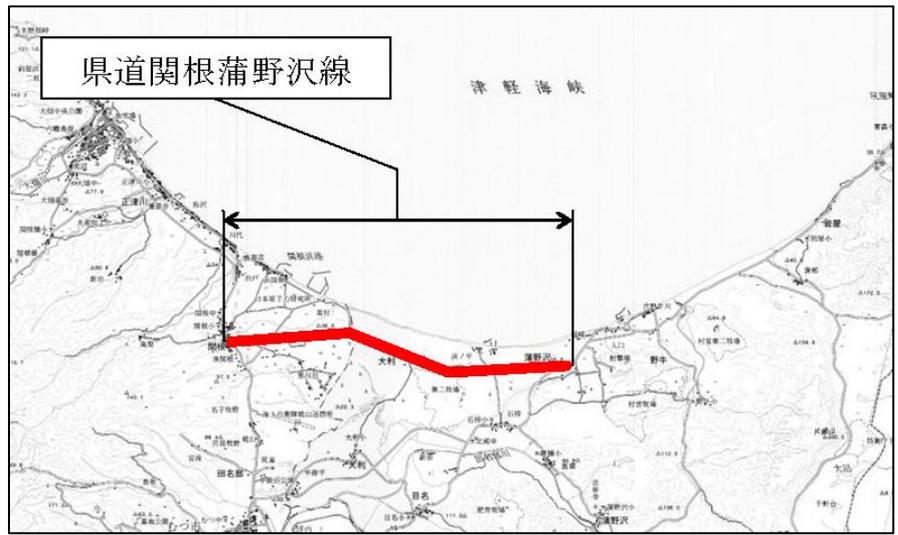
原子力災害時における避難経路の確保



国道338号 現道(老部地区)



主要避難道までの接続道(村道)の整備



県道関根蒲野沢線

国道338号 白糠バイパス(Ⅱ期工区)

原子力災害時に必要となる施設等の整備維持



屋内退避施設、集会施設(避難施設)等の整備



防災倉庫の整備



備蓄物資(保存食等)の整備



防災行政用無線



IP告知端末(每户配備)



防災対策車両の整備

住民に対する情報伝達手段の確保(整備・維持)

原子力防災に係る人材の確保・育成



児童・生徒に対する防災教育



住民に対する防災教育



消防団員の確保・育成



自主防災組織・防災士の育成

最後に